

弊社のクラウドシステム「GenKan-NS」の安全対策に関して

弊社のサーバーは、国内最高水準の安全性を誇るデータセンターにサーバーを設置し、最高レベルの安全対策を施しております。特に実際のシステム運用について最も弱く危険なものは、各パスワードの管理となります。この辺りを頻繁に変更すればお客様のシステム運用に負担が生じますし、長期過ぎれば外部へ漏洩してしまう危険性も高まってくる訳です。

弊社はそのような事情を充分に加味致しまして、バランスのとれた運用性と安全性を保ちながら、精度の高いクラウドシステムを実現しております。

具体的な安全対策に関しましては、下記の内容となっております。

■サーバー設置環境

- ①震度 6 強の地震にも耐える、制震、免震構造を採用したデータセンター専用に建設された構造の建物で保管。
- ②複数系統の受電方式を採用し、停電リスクを軽減。
- ③冗長構成のデータセンター専用の高効率冷房空調機を設置。
- ④冗長構成の無停電電源装置で 10 分以上の電力供給が可能。1 分以内に非常用発電機による安定した電力供給が開始され、無給油で 2 日間以上の電力供給が可能。
- ⑤防火壁構造、高感度火災予兆検知システムにより、燃烧事故につながる恐れのある段階で検知可能。
- ⑥データセンターへの入退室は、非接触 IC カード及び生体認証により 24 時間 365 日管理。
- ⑦監視カメラによる 24 時間 365 日管理。
- ⑧信頼性の高いサーバー用ハードディスクを RAID1 構成によりミラーリングし、万一のハードディスクドライブ障害発生時も、運用を続けながら故障したディスクを交換することが可能。

■サーバー運用管理

- ①データセンターの専門技術者による、24 時間 365 日のサーバー状況監視。
- ②他のデータセンターにある監視用サーバーが WEB システムを自動的に監視し、異常が発見された場合は自動的に弊社のサーバー管理者（2 名）と責任者にメールで通知。
- ③離れた別のデータセンターに、サーバーシステム稼働監視システム設置。
- ④管理者のサーバー操作ができる IP アドレスを限定。
- ⑤OS、WEB サーバーのセキュリティパッチの迅速な適用。

■サーバー稼働率と実績

- ④直近、一年間の実績 99.999%を実現。（2013 年 3 月～2014 年 4 月）※メンテナンス時間は除く。

②電気通信事業者登録をした 2005 年 5 月より現在まで、弊社管理サイトにおいて 8 時間以上のシステム停止事故なし。(ハードウェアの故障も含む)

■システムの運用管理

- ①WEB システムおよび現場施工品質監査アプリケーション「GenKan-NS」システム共に、暗号化(SSL)通信を使用。
- ②システムログの定期チェックを行い、内外からの不正アクセスを監視。
- ③本番サーバー側のプログラム更新時は、テスト用サーバーで事前テスト、検証を実施。